

骨密度測定(DEXA法)の説明と問診

【骨密度測定を受けられる方へ】

微量なX線を用いて骨粗しょう症の予防と治療を行うための検査です。

検査により放射線の低被ばくを伴います。

(一般胸部レントゲン約0.02～0.1mSv)

(骨密度測定前腕骨：約0.002mSv、両大腿骨、腰椎：約0.009～0.083mSv)

被ばくによる健康への影響より病状を評価する事の方が、患者様にとって有益と考えられる場合に検査が行われます。

放射線被ばくについて同意できない場合や、妊娠または妊娠の可能性がある場合は必ず検査前にお申し出てください。

※ 以下のチェックリストにて確認をお願いします。

- | | | |
|---------------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| ・骨密度検査は初回、もしくは前回から4ヶ月過ぎている。 | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |
| ・妊娠または妊娠の可能性がある。 | <input type="checkbox"/> いいえ | <input type="checkbox"/> はい |
| ・仰向けで安静を保持できる。(腰椎、大腿骨測定) | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |
| ・腰椎、大腿骨、手首に骨折や手術歴がある。 | <input type="checkbox"/> いいえ | <input type="checkbox"/> はい |
| ・検査前1週間以内のバリウム検査や造影剤検査、核医学検査をしたことがある。 | <input type="checkbox"/> いいえ | <input type="checkbox"/> はい |

※ 骨折やステントなどの手術歴のある方はご記入ください。(例：右人工関節など)

ご不明な点などありましたら担当者に直接おたずねいただくか、下記へお問い合わせください。